



甚大なひょう被害を受けたレタス

### 農業再生を

### さらに



◆地域と農業の再生に向けて  
農業後継者不足が深刻になつているが、今後の後継者育成対策は。  
(古畑)

答 人・農地プランや青年就農給付金制度、首都圏での県の就農相談会の活用等に積極的に取り組んでいく。

問 降ひょう被害農家がやる気を失わないように県と共に被災農家に対する支援を要請する。  
(古畑)

### ◆安倍政権の農業改革

問 政府の「規制改革会議」から農業委員会制度、全国農協中央会の全面見直しなどの意見書が出た。農村社会が、

守ってきた農地、農業を財界のビジネスチャンスのように扱われてはならないと思うが、市農業は守れるか。  
(鈴木)

### 魅力ある塩尻市をアピール



### ◆塩尻市の魅力・発信戦略

問 観光ブランドだけでなく本市の魅力をとータルしてアピールすることは市の経済や人口に大きく影響する。戦略的に発信する事が重要だ。今



守りたい塩尻市の農業

答 実効性ある制度改革は必要だが、国の政策や社会変動中でも展望ある農業経営を進めていけるよう農業委員会、農協と共に連携を強め、農業者だけでなく、消費者がともに支える農業再生に取り組み



魅力あるまちづくりに活用を

### 後の対策は。

(山口)

答 団体・事業者・市民等が連携し一元的に市内外へ発信していきたい。特に子育て世代をターゲットとしフェイスブックやツイッター等も活用したい。

問 塩尻の応援歌「大好き☆塩尻」は市の魅力や歴史・文化が物語になっていて人気だ。活用への考えは。  
(山口)

答 市振興公社が「まちづくり応援部長」として公認した「玄蕃サラ」のイメージソングで、活用を図っていく。

### ◆道の駅・桔梗ヶ原の設置

問 ワイン街道構想もある桔梗ヶ原を塩尻ブランド発信の地にしてはどうか。新たな雇用も生まれるが。  
(宮田)

答 多くの民間施設が立地しており、現在構想はない。桔

### 人口減少に工夫ある対策を



### ◆人口減少に歯止めを！

問 市の人口は第四次総合計画で目指した7万1千人を約4千人も下回る見込みとのことだが、計画との大幅な乖離の要因分析は。  
(青柳)

答 長引く不景気に世界的金融危機が拍車をかけるなど想定困難な事象が背景にあり、急激な人口の社会減少が続き、出生者数の減少傾向が続いたことも要因の一つだ。



豊かな田園風景で人口誘導